

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 固定資産の減価償却の方法

定額法で減価償却を実施している。

(2) 引当金の計上基準

退職給付に備えるため、当期末において発生していると認められる額を、期末自己都合要支給額に基づいて計上している。

2. 基本財産及び特定資産の明細、増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の明細、増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産 定期預金	12,000,000	0	0	12,000,000
小 計	12,000,000	0	0	12,000,000
特定資産 社会貢献活動引当資産	500,000	0	0	500,000
小 計	500,000	0	0	500,000
合 計	12,500,000	0	0	12,500,000

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財 産からの充当額)	(うち一般正味財 産からの充当額)	(うち負債に対 応する額)
基本財産 定期預金	12,000,000	0	(12,000,000)	0
小 計	12,000,000	0	(12,000,000)	0
特定資産 社会貢献活動引当資産	500,000	0	(500,000)	0
小 計	500,000	0	(500,000)	0
合 計	12,500,000	0	(12,500,000)	0

4. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位：円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
補助金 受取県連補助金	岡山県法人 会連合会	0	179,200	179,200	0	一般正味財産
助成金 受取全法連助成金	公益財団法人 全国法人 会総連合	0	4,958,100	4,958,100	0	指定正味財産

5. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

内 容	金 額
経常収益への振替額 受取全法連助成金振替額	4,958,100
合 計	4,958,100